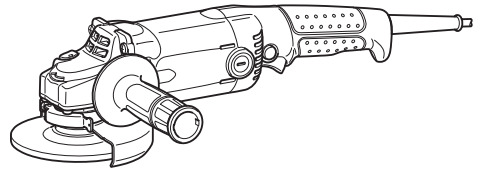


# Makita

## 取扱説明書

## ディスクグラインダ

- 125mmモデル GA5010
- 150mmモデル GA6010



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。  
マキタ製品は電気用品安全法に基づき技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはディスクグラインダをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。  
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いいくださるようお願いいたします。  
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 目次


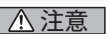

・ 主要機能	3
・ 電動工具共通の安全上のご注意	4
・ ディスクグラインダ安全上のご注意	8
・ 各部の名称および標準付属品	10
・ 別販売品のご紹介	11
・ お使いになる前の準備	12
・ ホイールカバーの取り付け・取りはずし方	12
・ グリップの取り付け方	13
・ シャフトロックの操作	13
・ 研削砥石の取り付け・取りはずし方	14
・ 取り付け方	14
・ 取りはずし方	14
・ 使い方	15
・ スイッチの操作	15
・ 研削方法	16
・ 別販売品の使い方	17
・ ダイヤモンドホイールの取り付け・取りはずし方	17
・ 切断方法	18
・ ディスクサンダとして使用する場合	19
・ サンディングディスクの取り付け・取りはずし方	19
・ 研削方法	19
・ カップワイヤブラシの取り付け・取りはずし方	20
・ 切断砥石の取り付け・取りはずし方	21
・ 切断方法	23
・ 保守・点検について	24
・ カーボンブラシの点検および交換	24
・ カーボンブラシの点検	24
・ カーボンブラシの交換	25
・ 本機のお手入れ	25
・ ご修理の際は	25

# 主要機能

主要機能	モデル	GA5010	GA6010
電動機		直巻整流子電動機	
電圧		単相交流 100V	
電流		11A	
周波数		50-60Hz	
消費電力		1,050W	
回転数		10,000min <sup>-1</sup> (回転 / 分)	9,000min <sup>-1</sup> (回転 / 分)
砥石寸法		外径 125mm × 厚さ 6mm × 内径 22mm (取り付け可能砥石厚さ 3 ~ 6mm)	外径 150mm × 厚さ 6mm × 内径 22mm (取り付け可能砥石厚さ 3 ~ 6mm)
本機寸法		長さ 356mm × 幅 139mm × 高さ 113mm	長さ 356mm × 幅 169mm × 高さ 114mm
質量		2.5kg	2.6kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 **警告**

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意**

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **注**

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

## ⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

### a) 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
  - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
  - 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
  - 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
  - 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

### b) 電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
  - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
  - 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
  - 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
  - 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
  - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
  - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

## ⚠ 警告

### c) 作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
  - ・ 理解せずに使用することは危険です。
2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
  - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
3. 安全保護具を使用してください。
  - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。
4. 不意な始動は避けてください。
  - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
  - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
5. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
  - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
7. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

### d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
  - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

## ⚠ 警告

2. スイッチに異常がないか点検してください。
    - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
  3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
    - ・ 本機の調整
    - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
    - ・ 保管、または修理
    - ・ その他危険が予想される作業
  4. 使用しない電動工具は、きちんと保管してください。
    - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
  5. 電動工具の保守点検をしてください。
    - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
    - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
    - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
    - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
    - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
    - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
    - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
    - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
  7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
    - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
  8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- e) 整備
1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
    - ・ 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
    - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
    - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
    - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
    - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

## ⚠ 警告

### その他の安全事項

#### 1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

#### <異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気を感ずる。
- ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

#### 2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

#### 3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

#### 4. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### ●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

# ディスクグラインダ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ディスクグラインダとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB005-11

## ⚠ 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. ホイールカバーを取り付けて使用してください。
3. 使用するオフセット砥石は、最高使用周速度 72 m/s (4,300 m/min) 以上の正規の砥石を取り付け、正しい使用面（外周下面）で研削してください。側面や上面では研削しないでください。
4. 砥石にひび、割れがないことを確認してから使用してください。
5. 使用中は、本機を確実に保持してください。
6. 水、研削液などは使用しないでください。
7. 上向き（定置形）にして使用しないでください。
8. 切断砥石以外の砥石での切断作業はしないでください。
9. 使用中は、工具類（砥石など）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
10. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
11. 切断砥石を用いて切断作業をする場合は、切断砥石専用のホイールカバー、およびフランジを取り付けて使用してください。
12. 本機を作動させたまま床などに放置しないでください。
13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（砥石など）や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
14. [事業者の方へ] 砥石の取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
15. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
16. ジグザグ切断、曲面切り、（ガイドを使わない）斜め切り、コジリ、側面使用は絶対にしないでください。
17. 本機ではカップ砥石を使用しないでください。けがや事故の原因になります。
18. 軍手などの布製の手袋は使用しないでください。手袋の繊維が本機に入り込み、故障の原因となります。



## ⚠ 注意

1. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
2. 新しい砥石を取り付け、初めてスイッチを入れるときは、回転面から一時身体を避けてください。
3. 用途以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）は使用しないでください。
4. 工具類（砥石など）でコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
6. 試運転を励行してください。

## 注

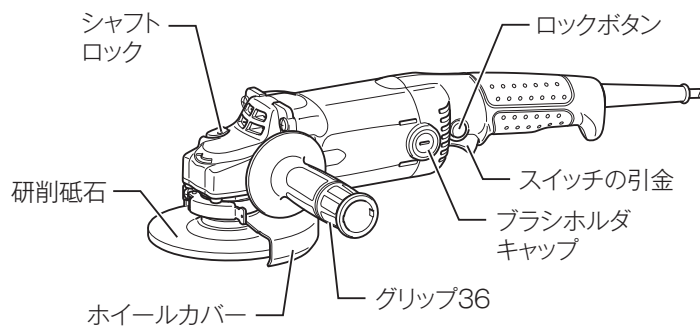
- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm <sup>2</sup>	50 m	30 m	20 m

- 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

## 各部の名称および標準付属品

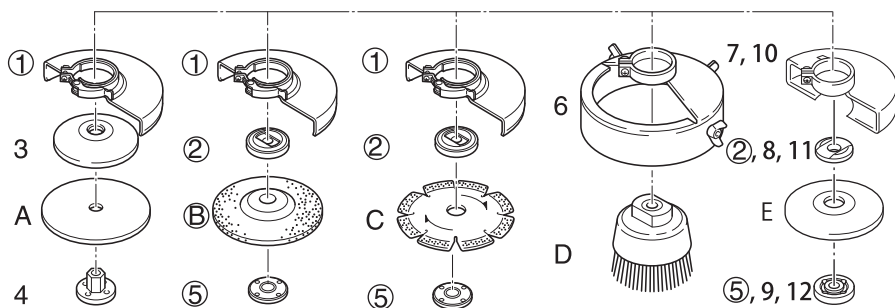


### 標準付属品

- ・ 研削砥石
- ・ ロックナットレンチ 35
- ・ グリップ 36

## 別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。



- ① ホイールカバー 部品番号 135120-2(GA5010)、135121-0(GA6010)
- ② スーパーフランジ(研削砥石、切断砥石(補強あり)用、ダイヤモンドホイール用) 部品番号 192431-8
- 3. ラバーパット 部品番号 743015-1 (GA5010)、部品番号 743016-9 (GA6010)
- 4. ロックナット(サンディングディスク専用) 部品番号 224523-6
- ⑤ ロックナット(研削砥石、切断砥石(補強あり)用、ダイヤモンドホイール用) 部品番号 224546-4
- 6. カップワイヤブラシ用ホイールカバー 部品番号 193066-8
- 7. ホイールカバー 125BC(切断砥石用) 部品番号 A-58366 (GA5010)
- 8. インナフランジ44A(切断砥石(補強なし)用)部品番号 A-59293(GA5010)
- 9. ロックナット 16-47(切断砥石(補強なし)用)部品番号 A-59330(GA5010)
- 10. ホイールカバー 150BC(切断砥石用) 部品番号 A-58372 (GA6010)
- 11. インナフランジ52(切断砥石(補強なし)用)部品番号 A-59302(GA6010)
- 12. ロックナット 16-55(切断砥石(補強なし)用)部品番号 A-59346(GA6010)
- A. サンディングディスク
- ⓐ研削砥石
- C. ダイヤモンドホイール
- D. カップワイヤブラシ
- E. 切断砥石

※ A～Eの商品についての詳細はカタログを参照してください。

①、②、⑤、ⓐは本機の構成部品および標準付属品です。

- ・ セフティゴーグル(保護メガネ)  
部品番号 191686-2

# お使いになる前の準備

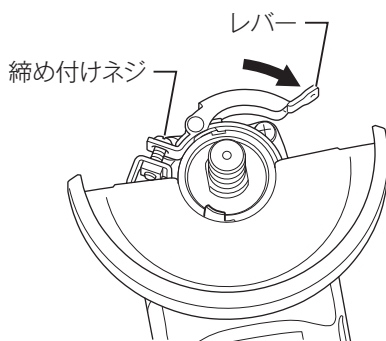
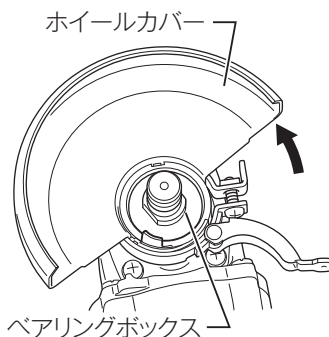
## ホイールカバーの取り付け・取りはずし方

### ⚠ 警告

ホイールカバーの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

- ・ 締め付けネジをゆるめ、レバーを開きます。
- ・ ホイールカバーの凸部とベアリングボックスの凹部を合わせ、ホイールカバーをベアリングボックスにはめ込んでください。
- ・ ホイールカバーを矢印の方向に図の位置まで回します。
- ・ レバーを閉じて、ネジを締め付けて固定してください。
- ・ 作業に合わせて、レバーを開きホイールカバーの位置を調整し、レバーを閉じることでホイールカバーの位置が調整可能です。
- ・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。



# お使いになる前の準備

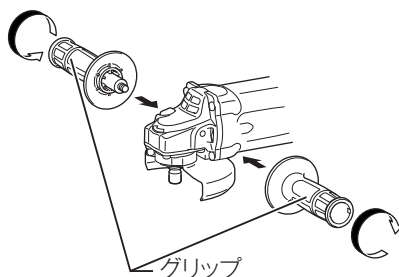
## グリップの取り付け方

### ⚠ 警告

グリップの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

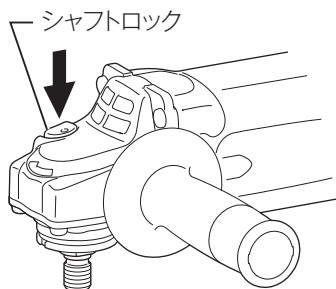
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

- ・ グリップは必ず取り付けて、両手で確実に保持して作業してください。
- ・ グリップは本機の2箇所に取り付けが可能です。  
作業にあった位置にしっかりと取り付けてご使用ください。



## シャフトロックの操作

- ・ 付属品の取り付け・取りはずしに使用します。シャフトロックを押し込み、シャフトの回り止めをしてください。



### 注

- ・ 回転させたままシャフトロックを押さえないでください。  
故障の原因になります。

# お使いになる前の準備

## 研削砥石の取り付け・取りはずし方

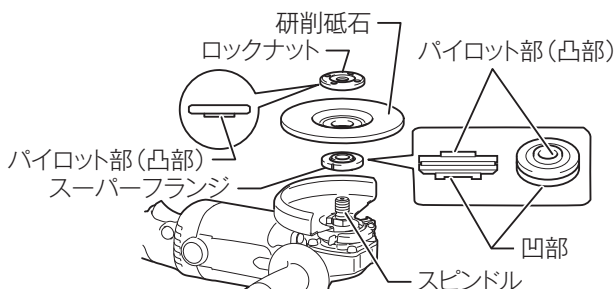
### ⚠ 警告

研削砥石の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

### 取り付け方

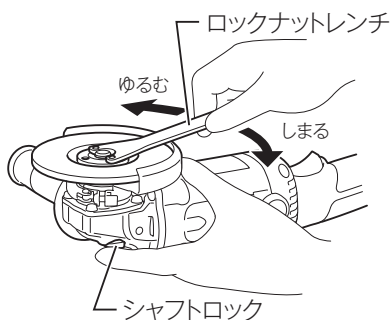
- ・ スーパーフランジをスピンドルに取り付け、その上に研削砥石をのせる。
- ・ スピンドルを上に向け、スーパーフランジの凹部をスピンドルの切欠部に合わせて、はめ込んでください。
- ・ 研削砥石の凹部を上にして、内径をスーパーフランジのパイロット部にはめ込んでください。



- ・ シャフトロックを押さえながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかりと締め付けてください。

### 注

- ・ 厚さ 4mm 未満の砥石の場合は、ロックナットのパイロット部 (凸部) を上にして取り付けてください。
- ・ 厚さ 4mm 以上の砥石の場合は、ロックナットのパイロット部 (凸部) を下にして取り付けてください。



### 取りはずし方

- ・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。

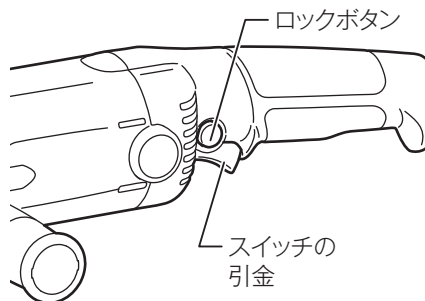
# 使い方

## スイッチの操作

### ⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。



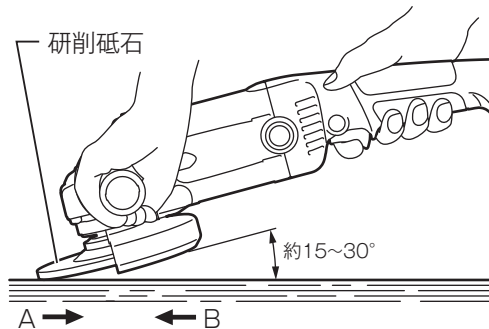
# 使い方

## 研削方法

### ⚠ 注意

使用後はスイッチを切って、研削砥石の回転が完全に止まってから本機を置いてください。

- ・ 回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置くと、切粉やごみを吸い込むことがあるのでご注意ください。
- ・ 本機回転部分が加工材等に当たらない位置でスイッチを入れ、回転が完全に上昇したことを確認して作業を開始してください。
- ・ 研削砥石は加工材に強く押し付けしないでください。研削砥石は約  $15^{\circ}$  ~  $30^{\circ}$  傾けて、外周下面で研削するようにご使用ください。
- ・ 新しい研削砥石は、後 (A 方向) に引いて使用してください。前 (B 方向) に押しますと加工材に食い込むことがあります。研削砥石の角がとれましたら、どちらの方向にも進めることができます。





## 別販売品の使い方

### ダイヤモンドホイールの取り付け・取りはずし方

#### ⚠ 警告

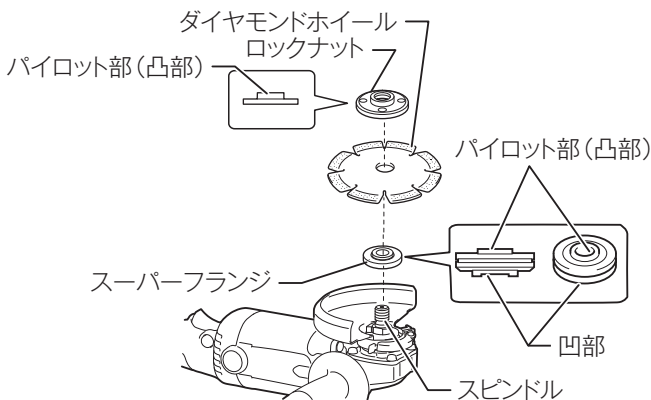
取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

ダイヤモンドホイールを取り付けるときは、本機についている矢印とダイヤモンドホイールについている矢印の方向を合わせてください。

- ・ 矢印に合わせないと、ダイヤモンドホイールの回転方向が逆となり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

- ・ スピンドルを上に向け、スーパーフランジの凹部をスピンドルの切欠部に合わせて、はめ込んでください。
- ・ ダイヤモンドホイールをスーパーフランジのパイロット部にはめ込んでください。



#### 注

- ・ 厚さ 4mm 未満のダイヤモンドホイールの場合、ロックナットのパイロット部 (凸部) を上にして取り付けてください。
- ・ 厚さ 4mm 以上のダイヤモンドホイールの場合、ロックナットのパイロット部 (凸部) を下にして取り付けてください。
- ・ シャフトロックを押さえながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかり締め付けてください。
- ・ 取りはずす場合は、取り付け方の逆の要領で行ってください。

# 別販売品の使い方

## 切断方法

### ⚠ 警告

切断中に本機をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。

- ・ モータに無理がかかるばかりでなく強い反発力を生じ、けがの原因になります。

### ⚠ 注意

使用後はスイッチを切って、ダイヤモンドホイールの回転が完全に止まってから本機を置いてください。

- ・ 回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置くと、切粉やごみを吸い込むことがあるのでご注意ください。
- ・ ダイヤモンドホイールが材料に触れない位置でスイッチを入れてください。本機をしっかり保持し、ダイヤモンドホイールの回転が上昇し安定したら、ゆっくり前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。

# 別販売品の使い方

## ディスクサンダとして使用する場合

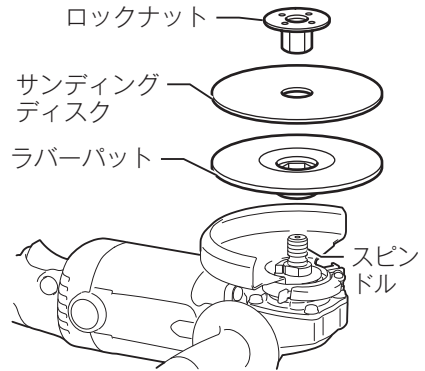
### ⚠ 警告

サンディングディスクなどの先端工具の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

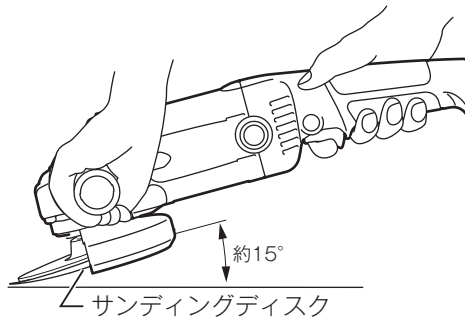
## サンディングディスクの取り付け・取りはずし方

- ・ スピンドルに、ラバーパット→サンディングディスク→ロックナットの順に取り付けてください。
- ・ 取りはずすときは、取り付け方の逆の要領で行ってください。



## 研削方法

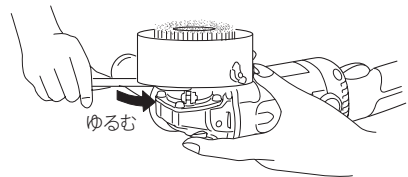
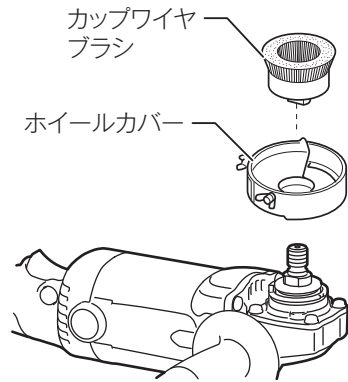
- ・ サンディングディスクは全面を材料に当てないで約 15° 傾けた状態でご使用ください。



## 別販売品の使い方

### カップワイヤブラシの取り付け・取りはずし方

- ・ ワイヤブラシは、専用のホイールカバーに取り替えてご使用ください。
- ・ 専用のホイールカバーを取り付けて、シャフトロックを押さえながらスピンドルにワイヤブラシをねじ込んでください。
- ・ 取りはずすときは、シャフトロックを押さえ、片口または両口スパナをワイヤブラシの切り欠き部にはめてゆるめてください。



# 別販売品の使い方

## 切断砥石の取り付け・取りはずし方

### ⚠ 警告

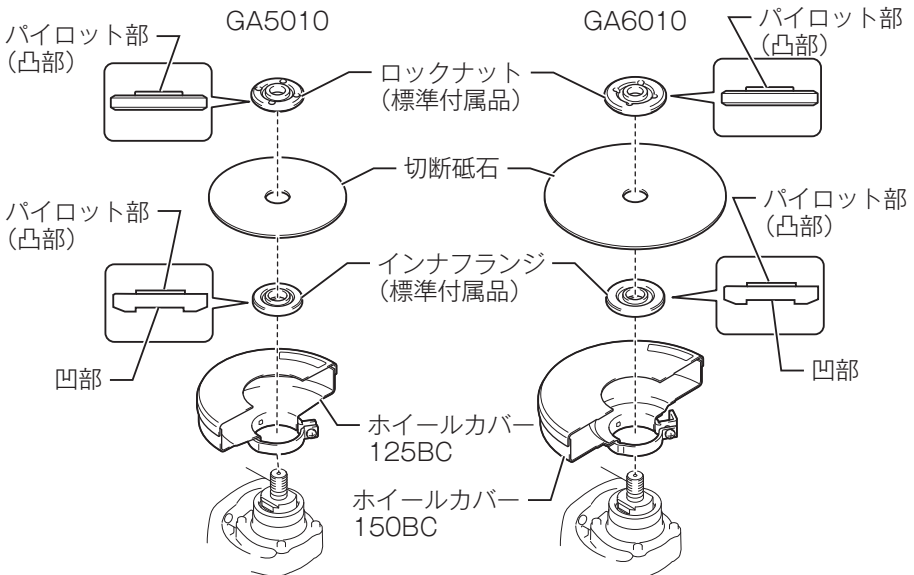
切断砥石を使用する場合は必ず切断砥石用のホイールカバーを取り付けてください。

- ・ 切断砥石が破壊したとき、事故の原因になります。

- ・ 切断砥石を使用する場合は、専用のホイールカバーに取り替えてご使用ください。

#### ① 切断砥石（補強あり）をご使用の場合

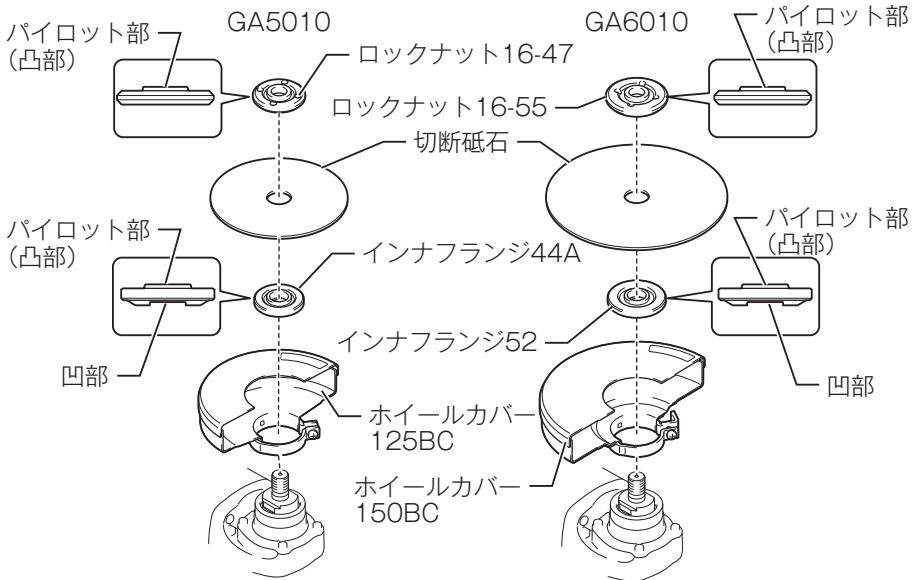
- ・ スピンドルを上に向け、インナフランジの凹部をスピンドルの切欠部に合わせてはめ込んでください。
- ・ 切断砥石をインナフランジのパイロット部にはめ込んでください。
- ・ ロックナットのパイロット部（凸部）を上にしてスピンドルにねじ込んでください。
- ・ シャフトロックを押えながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかりと締め付けてください。
- ・ 取りはずすときは、取り付け方の逆の要領で行ってください。



## 別販売品の使い方

### ② 切断砥石（補強なし）をご使用の場合

- ・ スピンドルを上に向けインナフランジ（切断砥石（補強なし）用）の凹部をスピンドルの切欠部に合わせてはめ込んでください。
- ・ 切断砥石、ロックナット（切断砥石（補強なし）用）の順にスピンドルに取り付けてください。
- ・ その際、ロックナット（切断砥石（補強なし）用）のパイロット部を図の様にスピンドルにねじ込んでください。
- ・ シャフトロックを押えながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかりと締め付けてください。
- ・ 取りはずすときは、取り付け方の逆の要領で行ってください。



### 注

- ・ 切断砥石の補強あり、補強なしがご不明な場合は、補強なしの切断砥石用インナフランジとロックナットをご使用ください。

# 別販売品の使い方

## 切断方法

### 警告

切断中に本機をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。

- ・ モータに無理がかかるばかりでなく本機自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

### 注意

使用後はスイッチを切って、切断砥石の回転が完全に止まってから本機を置いてください。

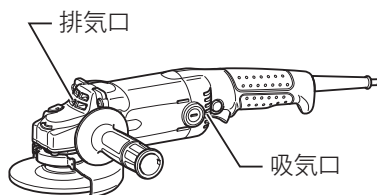
- ・ 回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。
- ・ 切断砥石が材料に触れない位置でスイッチを入れてください。本機をしつかり保持し、切断砥石の回転が上昇し安定したら、ゆっくり切り始め、切り終わるまでこの状態を保ってください。

## ⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

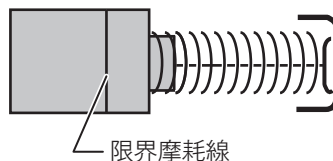
- ・ 本機及び本機の排気口、吸気口にゴミなど付着している場合は掃除してください。



## カーボンブラシの点検および交換

### カーボンブラシの点検

- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
- ・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
- ・ 新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。

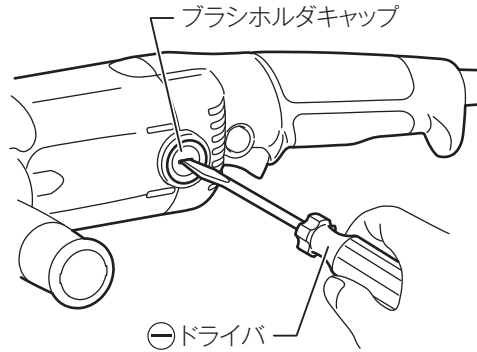




# 保守・点検について

## カーボンブラシの交換

- ・ ⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
- ・ カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。



## 本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

### 注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

## ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。





882703B6  
IWT

株式会社マキタ  
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711 (代表)